

App Bridge Release Note

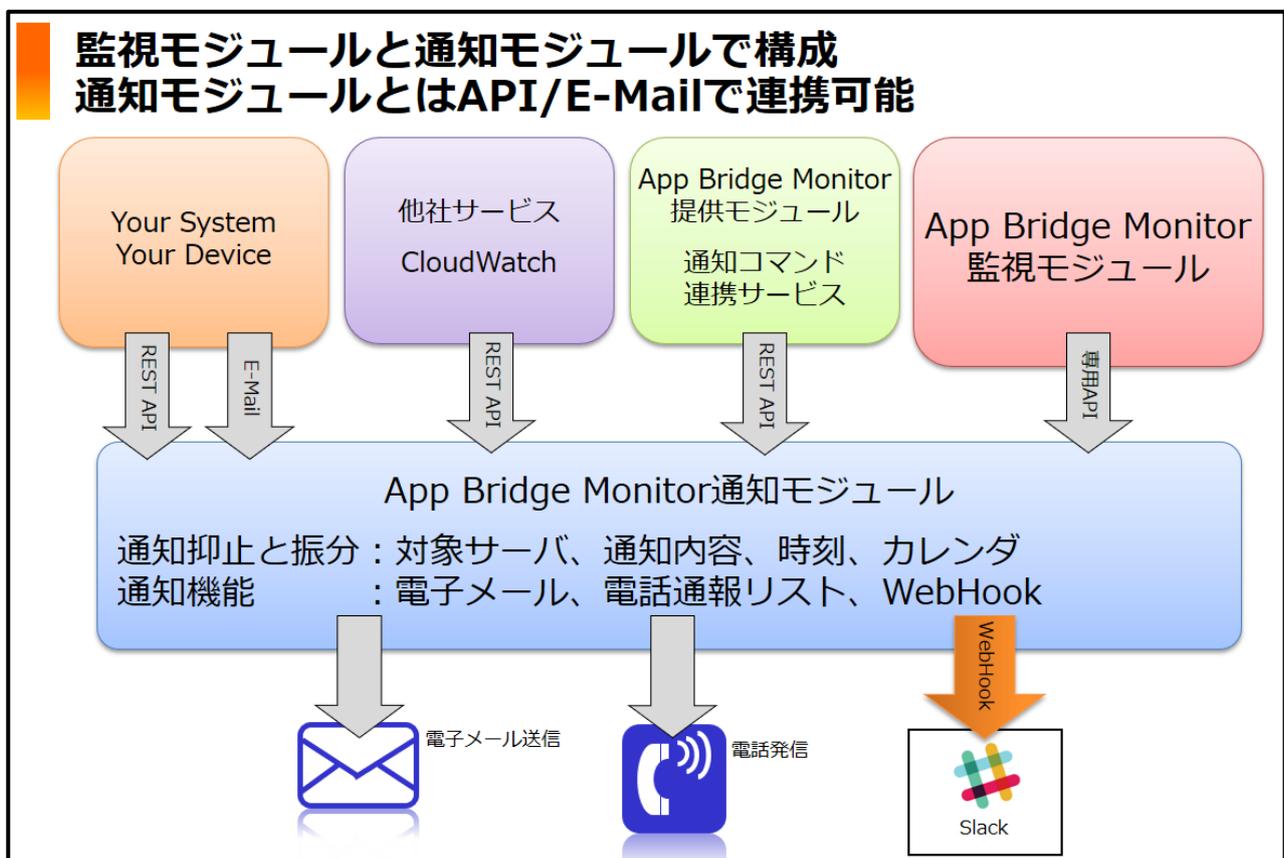
App Bridge Ver. 1.15.0 のバージョンアップ内容を以下に示します。

1. App Bridge Monitor Agent アクセス方式の変更

処理効率化、セキュリティ強化、Java11 対応などのため、Agent (Ver. 1.15.0 以降) のセンタアクセス方式を [SOAP/HTTPS] から [REST/HTTPS] に変更します。従来 (Ver. 1.14.0 以下) の Agent はそのままご利用いただけます。

2. Slack 連携の追加

通知メッセージの通知方法に Slack 連携 (WebHook) を追加します。



3. 二要素認証のサポート

Web サイトログインで、Authly、Google Authenticator などのソフトウェアを対象とした二要素認証をサポートします。

4. 小規模な機能拡張及び不具合対応

お客様がバージョンアップ機能を利用するためには、変更区分で示される作業が必要となります。

変更区分	変更機能を利用するために必要な作業	備考
C1	なし	センタの変更のみで利用可能です
W1	Windows Agent の導入、入れ替えが必要です	
W2	API コマンドの導入、入れ替えが必要です	Windows PC に導入するツールです
W3	連携サービスの導入、入れ替えが必要です	
L1	Linux Agent の導入、入れ替えが必要です	

4.1 センタ【C1】

#	対象	内容
1	ハートビート	ハートビート監視をオーナレベルで抑止した際、ノードのステータスが削除されない問題に対応しました
2		ハートビートエラーが発生した際、未読の通知メッセージが存在してもノードステータスが Unknown になる問題に対応しました

4.2 Web サイト【C1】

#	対象	内容
1	ユーザ登録	ユーザ登録で、Web ログインと API 利用権限を同時に許可したとき、警告するよう改善しました
2	統計情報表示	統計情報の表示を改善しました（カンマ区切り、ほか）
3	ステータス情報表示	ステータス情報の表示を改善しました（カンマ区切り、ほか）
4	無操作タイムアウト	ブラウザの無操作タイムアウトを 15 分から 30 分に延長しました

4.3 REST API【C1】

#	対象	内容
1	認証	API 認証でエラーが発生した際、Web ログインがロックアウトする問題に対応しました

4.4 Windows Agent【W1】

#	対象	内容
1	起動時通知	Agent 起動時のエラーメッセージ送信を OS 起動時のみとするオプションを追加しました

4.5 API コマンド【W2】

#	対象	内容
1	カレンダー登録	カレンダー登録、ダウンロードコマンドを新設しました
2	課金情報収集	ノード課金情報ダウンロードコマンドを新設しました

4.6 Linux Agent 【L1】

#	対象	内容
1	OS 起動時オプションの改善	OS 起動時、稀に Agent の起動障害が発生する問題に対応しました

以上